

ロングアドベンチャー

8月22日(火) ~ 8月27日(日)

IN 兵庫県立兔和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	レクリエーション大会 野外炊飯	ナイトハイク 振り返り
2日目	登山	登山 野外炊飯	振り返り
3日目	秘密基地づくり	秘密基地づくり 野外炊飯	振り返り
4日目	野外炊飯 ハイキング	川遊び、買い出し 野外炊飯	振り返り
5日目	野外炊飯 宿題タイム	グループタイム スタンプ練習	キャンプファイヤー
6日目	施設清掃	施設を出発 解散式	

一日目： それぞれの集合場所から尼崎駅に集まり、バスに乗り込みました。最初は緊張していたメンバーもおられました。施設に到着し、昼食時には笑顔が見られました。昼食を済ませ、荷物運びを終える頃に大雨が降り始めた為、レクリエーション大会は屋内でしました。グループをくじ引きで分け、グループ対抗で幾つかの遊びを楽しみました。遊びとはいえみんな本気なので、喜んだり悔しがったり、様々な声が響いていました。その後、キャンプのテーマやプログラムの流れを確認し、夕食作りに取り掛かりました。雨の影響もあり、夕食の焼きそば作りも屋内で行いました。自分達で役割を分担し、包丁で野菜を切ったり、麺を準備したり、次々と調理を進めておられました。夕食後は入浴へ向かいました。キャンプ場からお風呂場までは少し距離があるので、その間毎晩ナイトハイクを楽しめます。この日は曇り空の中に数個の星が見え、持っていたライトを消すとよりくっきりと見る事ができました。入浴後の振り返りでは、自分のプロフィールを紙に書き、壁に掲示して紹介しました。



二日目： 朝早くから話し声が聞こえてきました。朝のつどいは、一日目にできなかった外遊びを楽しみました。朝食を済ませ、施設の裏にある瀬川山の「はちまき展望台」^{とるかわやま}へ向けて出発しました。グループは組まず、みんなで登りました。序盤から歩くペースに差が見られ、坂を進んで行くにつれてその差はどんどん大きくなりました。先頭メンバーは賑やかに進み、中間メンバーはのんびりお喋りを楽しみ、後方メンバー楽しさよりしんどさが勝っている様子でした。何度も足並みを揃え進もうと試みますが、声掛けはほとんどなく、少しぎくしゃくした雰囲気のまま登山を終えました。休憩後、このキャンプで初めての野外炊飯をしました。食器や薪などの器材を協力して運び、カレー作りが始まりました。かまど係の人氣が高く、係分けに時間が掛かりましたが、作業が始まると、みんなで案を出し合いながら、あっという間に美味しいカレーを完成させていました。洗い物と入浴を済ませ、二日間で覚えた友達の名前を書きだし、二日間を振り返りました。



三日目： 朝食時からグループ発表の話題で持ちきりでした。グループ発表後は自己紹介をし、秘密基地作りをしました。場所決めの際からグループごとに違いが見始め、自分のグループ以上に他のグループが気になるようでした。しかし、場所が決まり、本格的に基地作りが始まると、これまで会話が少なかったメンバー同士の会話が増え、新しい一面が見られるようになりました。昼食後は、「基地をもっと進化させよう!」、「基地で休憩しよう!」と、グループごとに相談し、出発する姿が見られ、同じグループとしての意識が高まっていると感じました。夕食作りの時間になると自分達で持ち物や器材を揃え、野外キッチンへ向かいました。前日の野外炊飯の経験を活かし、係に分かれ作り始めました。今回の料理のテーマは『中華』ですが、食材やメニューがグループで異なるので、同じ作り方ではありません。箱に書かれた作り方を自分達で読み、理解した内容をグループで共有する事に、奮闘しておられました。この日の振り返りでは【グループで一番盛り上がった場面】を絵日記にしました。



四日目： 朝食のホットサンドを素早く食べ終え、楽しみにしていた川遊びへ出発しました。施設から山を下り、『猿尾滝』まで約7kmの道のりです。最初は笑顔で楽しんでいたメンバーも、想像以上の距離に表情が曇っていきました。しんどい道のりの中で、これまでの疲れやフラストレーションが一気に溢れ、涙を浮かべるメンバーもおられました。励まし合いながらようやく目的地に着き、お弁当を食べ、念願の川遊びが始まりました。この四日間、大人しいイメージだったメンバーが、見たこともないくらいイキイキとした表情と、初めて聞くような大きな歓声を上げる姿に、まわりのメンバーは驚きつつも、なんだか嬉しそうでした。時間ギリギリまで川遊びを満喫した後、着替えを済ませ、近くのスーパーで夕食の買い出しをしました。メニューを自分達で決め、必要な食材を買い揃えました。施設に戻り、早速調理を始めました。メニューを決めたものの、詳しい作り方が分からず、あたふたする場面もありましたが、試行錯誤しながら、なんとか『オムライス』、『ハンバーグ』、『ロコモコ丼』が完成しました。予想していたより美味しかったようで、すぐに完食していました。この日は相当疲れていたのか、いつもの話し声は聞こえず、テントに入るとすぐに眠っていました。



五日目： このキャンプで初めて静かな朝でした。眠そうな表情で身支度を済ませ、朝食の棒焼きパンを作りました。グループリーダーが捏ねたパンを棒に巻きつけ、焼いていきました。パン全体を美味しく焼き上げる為にかまどの前で根気強く待ち、炎の熱に当て続けました。焼きあがったパンはとても美味しく、お腹を満たしてくれました。ここから夕食まではグループタイムです。宿題タイム、キャンプファイヤーで披露するスタンツ練習の他に、基地で寝る、お菓子を食いたい、芝生広場で遊びたいなど、グループでやりたい事を出し合い、一日の流れを考えました。昼食時に午後からの時間配分を組み直し、夕食までそれぞれのグループで過ごしました。そして、いよいよキャンプファイヤーが始まりました。ゲーム中は緊張を忘れ、思いっきり楽しみました。スタンツは『劇』、『ダンス』、『PPAP』など、どのグループの時も笑いや拍手が起り、大盛り上がりでした。最後にキャンプ中よく歌った『勇気100%』をみんなで歌い、幕を閉じました。



六日目： 様々な想いを抱えながら迎えた最終日。朝から片付けや清掃に追われながらも、一人一人がテキパキと動き回り、使用した器材やテントをきれいにしていきました。施設点検をクリアした後、他のグループの秘密基地へ遊びに行きました。基地の中へ招待したり、こだわりを紹介したり、みんなでそれぞれの基地を巡りました。キャンプ場を出発する時間が近づいてきたので、基地を撤去し、全ての備品を運び出しました。すっきりしたテントサイトに別れを告げ、本館近くの日陰でお弁当を食べました。昼食中や帰りのバスでも笑いが絶えることはなく、六日間を一緒に乗り越えた仲間との一体感が生まれていました。



<キャンプ総括>

例年同様、今年も様々な想いが溢れた六日間でした。今年は六日間の内、前半の二日間はグループを固定せず、自分達でグループを決め生活しました。その中で性別、学年、キャンプ経験値、楽しみ方など、自分との違いを感じる瞬間が多く、気の合うメンバー同士で集まることが増えました。出発時にはあまり感じなかったキャンプへの意気込みにも、目に見えて差が生まれ、フラストレーションが溜まっているようでした。そして、敢えて意気投合したメンバーと同じグループにならないよう、グループを組みました。これは普段の活動でも行っていますが、新たな繋がりを持つ事で良くも悪くも刺激を貰い、自分の中に新しい考えや気持ちが生れます。今回はふざけ合える友達が増えたり、意見がぶつかり悩んだり、スタンツが出来上がっていく事を喜び合ったり、一人ではできないことを沢山経験し、様々な想いが生まれたのではと思います。五日目のスタンツ発表では、初日とは比べものにならない程、強く逞しい顔つきで披露する姿が見られ、とても輝いていました。今回のキャンプは、楽しいだけのキャンプではなかったと思います。しかし、溢れる想いを素直に出せる雰囲気自分達でつくることができたといい事が、一人一人の大きな成長に繋がり、最終日に「来年も会おうね!」という声が飛び交う程仲良くなれたのだと思いました。

(生本 ひろみ)